

2020年6月11日
株式会社ビジネス・ブレイクスルー

オンライン MBA (Bond-BBT MBA) 取得者のキャリア調査 年収増加 82%、「自信」と「ネットワーク強化」が好影響

あらゆる年齢層に対し生涯に渡るリカレント教育を提供する株式会社ビジネス・ブレイクスルー(所在地:東京都千代田区、代表取締役社長:柴田巖、以下 BBT)とボンド大学ビジネススクール(所在地:オーストラリア クイーンズランド州)がオンラインにて共同運営する「BOND-BBT グローバルリーダーシップ MBA プログラム(監修:大前研一、以下 Bond-BBT MBA)」は、BOND-BBT MBA プログラム修了生に対して、修了後のキャリアについてアンケートを実施しました。オンラインでの MBA 取得が年収を含むキャリアに好影響を与えたという調査結果についてレポートします。



(現地のオーストラリア BOND 大学卒業式で帽子投げをする修了生:2018年撮影)

緊急事態宣言が解除された6月現在においても、新型コロナウイルスの二次感染拡大防止のために新しい生活様式として、ソーシャルディスタンスを保つことなどを政府は要請しています。それにより引き続きリモートワークや教育のオンライン化が推奨されていますが、来年で20周年を迎えるBOND-BBT MBAは、スマートフォンやタブレットが普及する前の2001年からオンラインで海外MBAプログラムを提供してきました。

BOND-BBT MBAは働きながら学び、日本にいながら海外のMBAを取得できるようオンラインを中心に設計されています。アカデミア中心のBOND大学講師陣と実務家揃いのBBT講師陣の両者から学ぶことで理論力と実践力を同時に構築し、今後AIの進化に伴い必要性の高まりが予想されるイノベーション、アントレプレナーシップ、リーダーシップなどソフトスキルのカリキュラムにも力を入れていることが特徴です。これまで1,200名を超える修了生を輩出して参りました。海外MBAでもオンラインであることでビジネスパーソンが通いやすく、様々な年代・居住地・業種などダイバーシティに富んだ仲間から刺激を受けながら、仲間同士の意見交換からも学ぶことができます。

今般、BOND-BBT MBAは修了生に対し、オンライン環境でMBAの学びを行ったことで、ビジネスパーソンとしてどう変化したか調査をいたしました。現在、オンライン学習を検討する方々にとって、オンライン教育の真の可能性について理解を深める一助になれば幸いです。

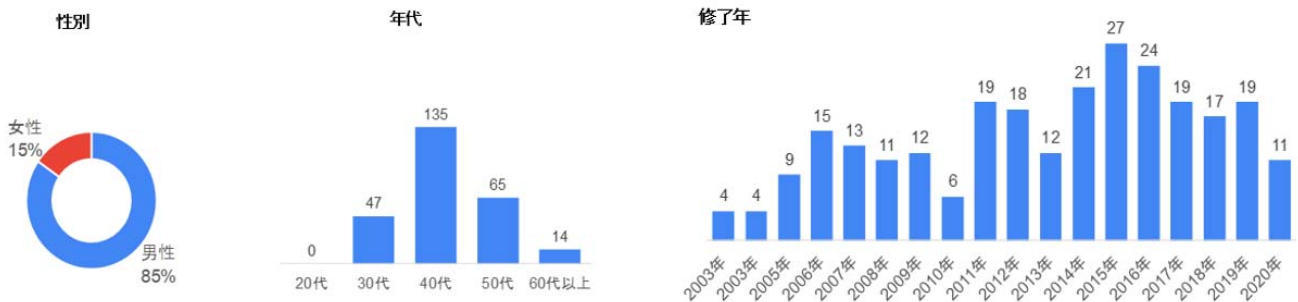
【キャリア調査手法】

調査対象: BOND-BBT MBA プログラムの全修了生 1,251 人 (2020 年 3 月 29 日時点)

調査方法: インターネット調査、調査期間: 2020 年 3 月 29 日(日)~2020 年 4 月 4 日(土)

有効回答数: 261、回答率: 21%

【アンケート回答者情報】



※回答者の年代は、就学時ではなく現在の年代です。

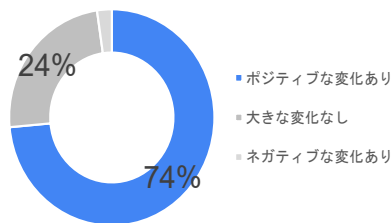
【キャリア調査結果の概略】

- BOND-BBT MBA 修了生の約 75%に、キャリア面でのポジティブな変化が認められた。
- 「キャリア面でポジティブな変化あり」と回答した BOND-BBT MBA 修了生において、最も大きな具体的変化は「年収の増加」であった。そのうち、約 10%の修了生が「1000 万円以上の増加」と回答した。また、「自信がついた」「人脈・ネットワークが広がった」の回答も多数あった。

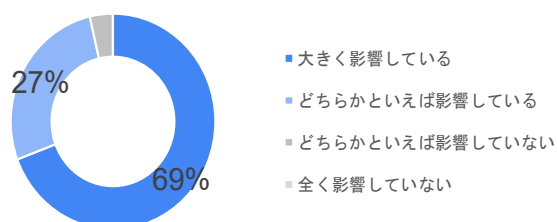
■ BOND-BBT MBA 修了生の74%において、キャリア面でのポジティブな変化が認められた

- 「キャリア面でポジティブな変化あり」と回答した人の 7 割が、その変化に対して「BOND-BBT MBA が大きく影響している」と回答した。

Q: BOND-BBT MBA 修了後のキャリア面の变化について教えてください(N=261)



Q: BOND-BBT MBA は、あなたのキャリア変化に影響を与えていますか(N=192)



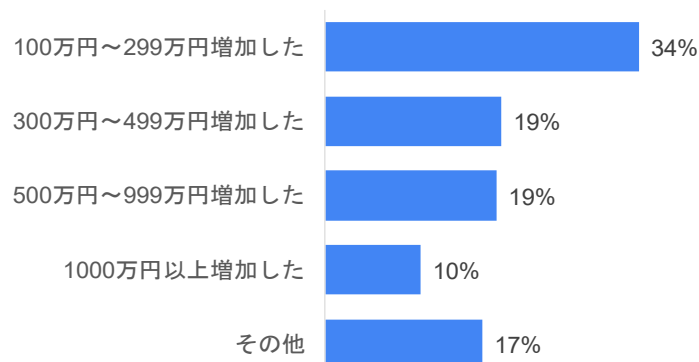
■ 「キャリア面でポジティブな変化あり」と回答した BOND-BBT MBA 修了生において、最も多かった具体的変化は「年収の増加」であった。

Q: キャリア面で良い変化があった方は、具体的にどのような変化がありましたか(N=192)

1 位	年収が増加した
2 位	転職した
3 位	業務で業績・実績を上げた
4 位	昇進・昇格した
5 位	社内で希望の仕事・異動を獲得した
6 位	独立・起業した

■ 「キャリア面でポジティブな変化あり」と回答した BOND-BBT MBA 修了生のうち 82%の年収が上がっていたことが分かった。「100 万円～299 万円増加」が最も多く、「1000 万円以上増加」した修了生が 1 割いた。年収が増加した修了生の平均増加額は約 400 万円であった。

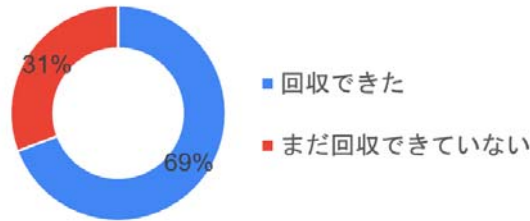
Q: BOND-BBT MBA 入学時の年収と比較して、現在の年収はどのように変化しましたか(N=192)



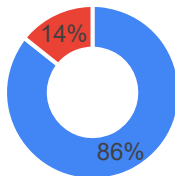
■ 「キャリア面でポジティブな変化あり」と回答した BOND-BBT MBA 修了生における投じたコスト(学費や時間等)に対するリターンの回収率では約 7 割がすでにできたと回答した。

➢ 修了年別においては 2013 年までの修了生においては約 9 割が回収できたと回答した。

Q.BOND-BBT MBA に投じたコスト(学費や時間等)に対するリターンは回収できましたか(N=192)

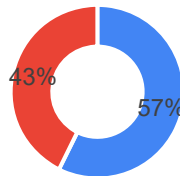


(開学～2013年)



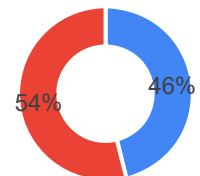
■ 回収できた ■ まだ回収できていない

2014年～2017年



■ 回収できた ■ まだ回収できていない

2018年以降



■ 回収できた ■ まだ回収できていない

■ BOND-BBT MBA 修了生の中には、入学前に比べて「自信がついた」「人脈やネットワークが広がった」「キャリアチェンジできた」ことを理由にあげる人が多数いた。

- 外国人や他の MBA ホルダーに無駄に尻込みしなくなったし、NY に駐在することができ感謝しています。(2013年修了、40代男性)
- 仕事・収入面だけでなく、達成感・自己肯定感などの精神的なメリットが大きいと思います。色々な場面で自信を持って活動できるようになりました。(2017年修了、50代女性)
- 昨年の業績評価で最高ランクを世界で一人だけ取ることができました。Bond-BBTでの学びの成果が出てきていると感じています。(2017年修了、40代男性)
- オンラインでのグループワークにより、ビジネスネットワークが広がった点において、非常に有意義なプログラムでした。(2020年修了、30代男性)
- 様々なバックグラウンドを持った人たちとの交流が、MBA で得た一番の財産となっています。(2020年修了、30代男性)
- Group Work や Air Campus®上でのチャット議論が非常に役に立った。知識度が同じくらいのレベルのもの同士でああでもない、こうでもない議論を重ねるうちに腹落ちしていくプロセスは、講義形式の授業では絶対得られなかった。(2007年修了、40代男性)
- 英語で経営を学べること、異業種の人脈ができることが素晴らしいです。(2011年修了、40代男性)
- BOND 同窓生(海外の方)とビジネス環境で出会う事が結構ありました。また、欧米の MBA ホルダーと共通したビジネス認識は役に立ちました。(2005年修了、60代男性)
- MBA 内の知識・経験・ネットワークだけでなく、社内で築き上げてきたネットワークにより、より MBA を活かせるキャリアチェンジができました。(2018年修了、40代男性)
- 英語力も飛躍的に上昇し、結果としてグローバルな環境で働く異動を実現しました。(2011年修了、40代男性)

■修了生体験談

=====

梶井 駿介(かこい しゅんすけ)さん

34 期生(2012 年 5 月入学～2015 年 2 月修了)

つばめ投資顧問合同会社 代表社員・株式投資アドバイザー

証券会社を退社し、起業。オンラインでの学びがオンラインでのビジネスの礎になりました。

BOND-BBT で MBA を取得した後、それまで7年間、勤めていた証券会社を退職して、投資顧問会社を設立しました。独立する際には BOND-BBT MBA での学びがとても有効となりました。まずは自分のスキルや資源を活かし、お金のかからないところから徹底的にやることなど、事業計画を一から作る「Business Planning for Entrepreneurial Ventures Part A」での教えは実践にフォーカスしていて参考になりました。事業戦略を学ぶ「Strategy and Innovation」では多くの企業のリアルタイムな分析を経験し、まさに自分の今の仕事に直結するものでした。そして何より、オンラインでビジネスをやっていると確信したのは、AirCampus®上でオンラインでありながら多くの人が集まって活発に行われるディスカッションやグループワークの経験があったからこそでした。

=====

田中 香織(たなか かおり)さん

36 期生(2013 年 1 月入学～2017 年 2 月修了)

IT(システムインテグレーター)企業勤務

マネージャーに昇格して痛感した知識やスキル不足が、MBA を取得するきっかけに。

マネージャーに昇格しましたが、せつかく部門の戦略作りを担えるポジションに就き、なりたい姿も見えているというのに、どうしたら組織を導けるのか具体的に描けない。数十名のスタッフを抱えながら、圧倒的な知識とスキルの不足を感じました。社外の研修などに参加して不足を補う中、自然と MBA が気になるようになりましたが、残業が多い中大学に通う自信はありませんでした。そこで出した結論が好きな時間に学べるオンライン、しかも2年での修了を目指すのではなく、3～4年をかけて1科目ずついいいに学んでいこうというスタイルです。それでも仕事との両立は大変でしたが、学んだことを実践で試しながらさらに深めていくのは、とても楽しかった。また、このスタイルは学費の面でもメリットがあります。BOND-BBT MBA の場合、2学期目以降は取得する単位ごとの支払いなので、総額は在籍年数に関わらずほぼ変わりません。初期費用をおさえて、時間をかけて学ぶのにはリーズナブルな仕組みです。MBA を取得した今は、新たな課題にぶつかっても、それが何の分野の問題で情報はどこで入手できるのか、どういう専門家に相談すればいいのかなど、解決までの道筋を描けるようになりました。

=====

渡辺 翔太(わたなべ しょうた)さん

42 期生(2015 年 1 月入学～2019 年 2 月修了)

日豊海運株式会社 社長室長

MBA での学びと培った人脈を活かして、成果を出していくステージへ。

グローバルに展開する家業をいずれ継ぐためには、経営を担っていく力と自信をつけなければと思ったのがきっかけで BOND-BBT MBA に通い始めました。もともと MBA には憧れがありましたが、時間と費用の制約など非常にハードルの高いものだと思い込んでおり、チャレンジしないままでした。しかし、オンラインで MBA が学べることを知り、せつかく学ぶなら英語で学びたいと思ったこと、国際認証 AACSB と EQUIS を取得している BOND 大学のプログラムであること、大前研一教授の書籍を何冊か拝読して尊敬していたことから、この BOND-BBT MBA を選びました。

BOND-BBT MBA で様々な角度から経営を見つめる視点を手に入れることができ、ファイナンスやマーケティング、ビジネスモデル、人材管理、事業戦略を学べたことは非常に有意義でした。オーストラリアへのスタディツアーも2度、経験しました。自分よりも年齢が上の課長クラス、部長クラスの方々と、クラスメイトとしてディスカッションできたことも非常に良い経験です。MBA を学びさえすれば経営のプロフェッショナルになれるわけではなく、学んだことを消化し自分のものにし、仕事に活かし、成果を出してこそその MBA 取得だと実感しています。

=====

参照元: BOND BBT-MBA ホームページの「[IMPACT STORIES](#)」より

【BOND-BBT グローバルリーダーシップ MBA プログラム(BOND-BBT MBA)について】



オーストラリアの名門ボンド大学ビジネススクールと、幅広いマネジメント教育事業を展開する BBT が提携する事で実現した海外正式 MBA プログラムとして、2001 年に開講。国際認証 AACSB と EQUIS を取得。「世界で活躍できるビジネスリーダーの育成」を掲げ、総計 1,200 名超の修了生を輩出。アカデミア中心の BOND 大学講師陣と実務家揃いの BBT 講師陣の両者から学ぶことで、理論と実践がブリッジされ実務で使えるマネジメントスキルを身に着けることができる。受講スタイルはオンラインとオフライン(スタディツアー)を組み合わせることで効果的な学びを実現。リアル(スタディツアー)では、現地オーストラリアの学生と共に英語環境の中で実践的なディスカッションに取り組むことでビジネス英語力に加え、思考と議論の瞬発力を強化する。

<https://www.bbt757.com/bond/>

【BBT について】



グローバル環境で活躍できる人材の育成を目的として 1998 年に世界的経営コンサルタント大前研一により設立された教育会社。設立当初から革新的な遠隔教育システムによる双方向性を確保した質の高い教育の提供を目指し、多様な配信メディアを通じてマネジメント教育プログラムを提供。大学、大学院、起業家養成プログラム、ビジネス英語や経営者のための勉強会等多様な教育プログラムを運営するほか、法人研修の提供やTV番組の制作などあらゆる年齢層に対し生涯に渡るリカレント教育を提供する。2013 年 10 月のアオバジャパン・インターナショナルスクールへの経営参加を契機に、生涯の学習をサポートするプラットフォーム構築をグループ戦略の柱の1つとして明確に位置づけている。在籍会員数約 1 万人、輩出人数はのべ約 5 万人以上。<https://www.bbt757.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ビジネス・ブレイクスルー 広報担当 吉田

TEL : 03-6271-0757 FAX : 03-3265-1381 メールアドレス : bbt-pr@ohmae.ac.jp